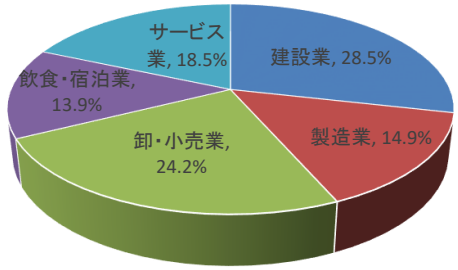
十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書（R2.10.1～R2.12.31）松之山地区

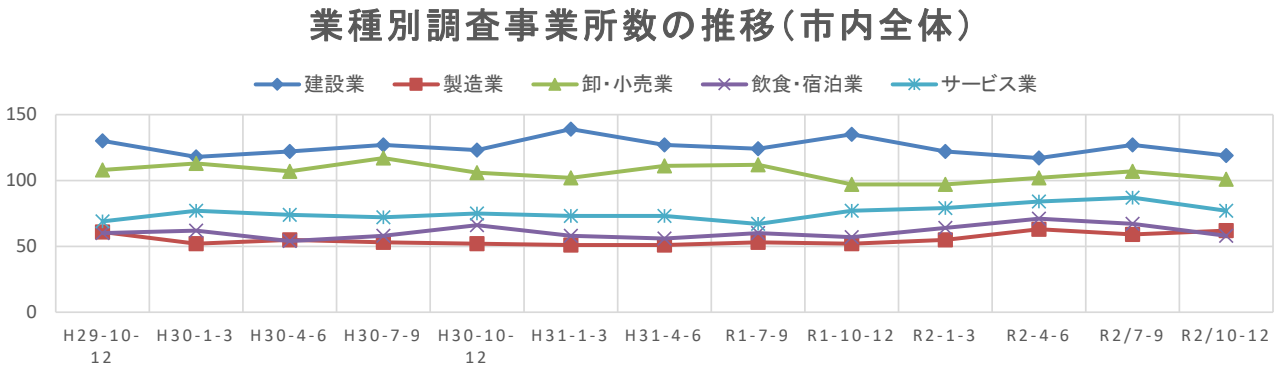
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜十日町市内全体＞



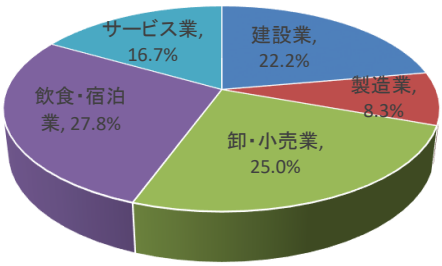
	事業者数	構成比
建設業	119	28.5%
製造業	62	14.9%
卸・小売業	101	24.2%
飲食・宿泊業	58	13.9%
サービス業	77	18.5%
全業種合計	417	100.0%



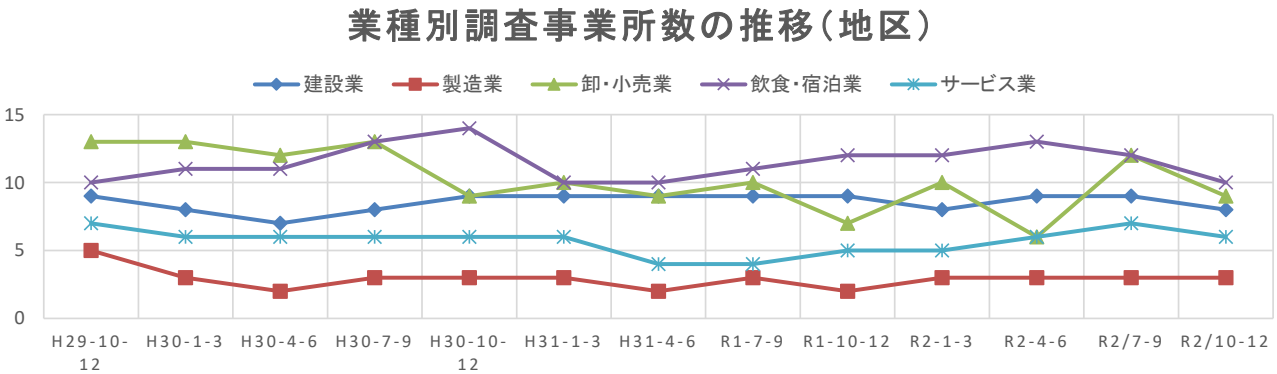
＜コメント＞

今回の調査回答は十日町市内の417事業所で、前回調査よりも30事業所減少している。製造業で若干増加しているものの、その他の業種はほぼ同割合で減少となっていることから、全体の業種構成割合は前回調査時とほぼ同割合となっていて、全体のバランスも大きな変動はなかった。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	8	22.2%
製造業	3	8.3%
卸・小売業	9	25.0%
飲食・宿泊業	10	27.8%
サービス業	6	16.7%
全業種合計	36	100.0%



＜コメント＞

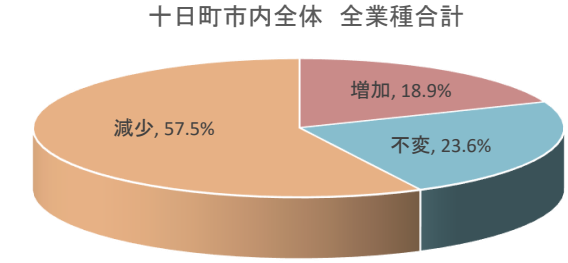
松之山地区の今回の調査回答状況は、配布64事業所の内36事業所から回答を得て、回収率56.3%であった。前回調査に比べ1割以上減少してしまった。小売業の回収率に波があり、小売業の回収率を上げる対策を今後検討したいところである。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

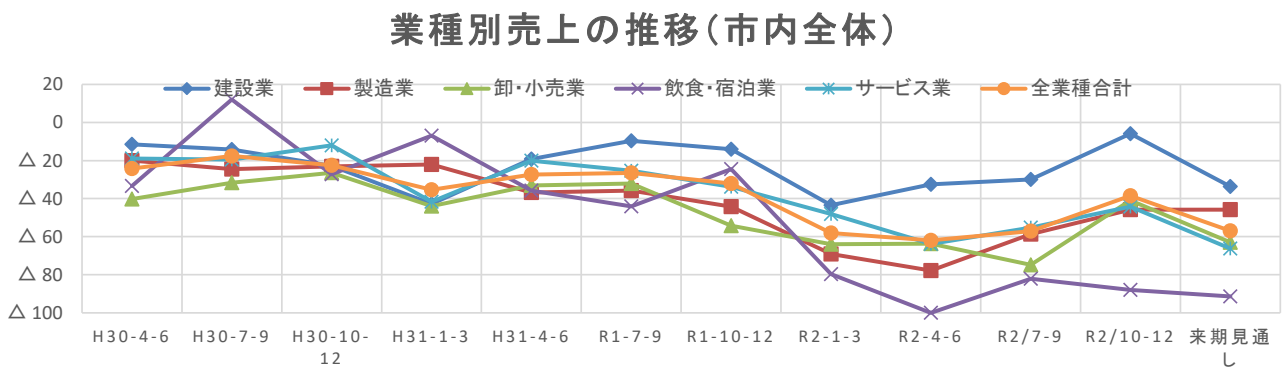
１．売上について

・１０月～１２月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

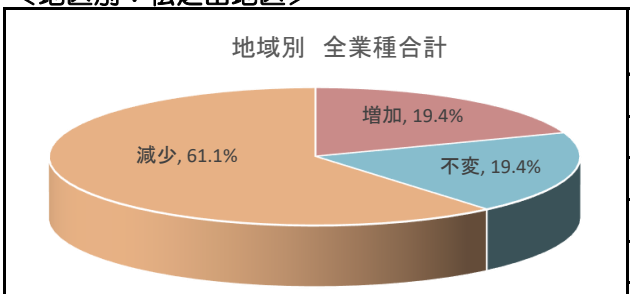


	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	29.4%	35.3%	35.3%	△ 5.9	△ 33.6
製造業	12.5%	29.2%	58.3%	△ 45.8	△ 45.8
卸・小売業	20.0%	19.0%	61.0%	△ 41.0	△ 63.0
飲食・宿泊業	3.4%	5.2%	91.4%	△ 87.9	△ 91.4
サービス業	16.9%	22.1%	61.0%	△ 44.2	△ 66.2
全業種合計	18.9%	23.6%	57.5%	△ 38.6	△ 57.0

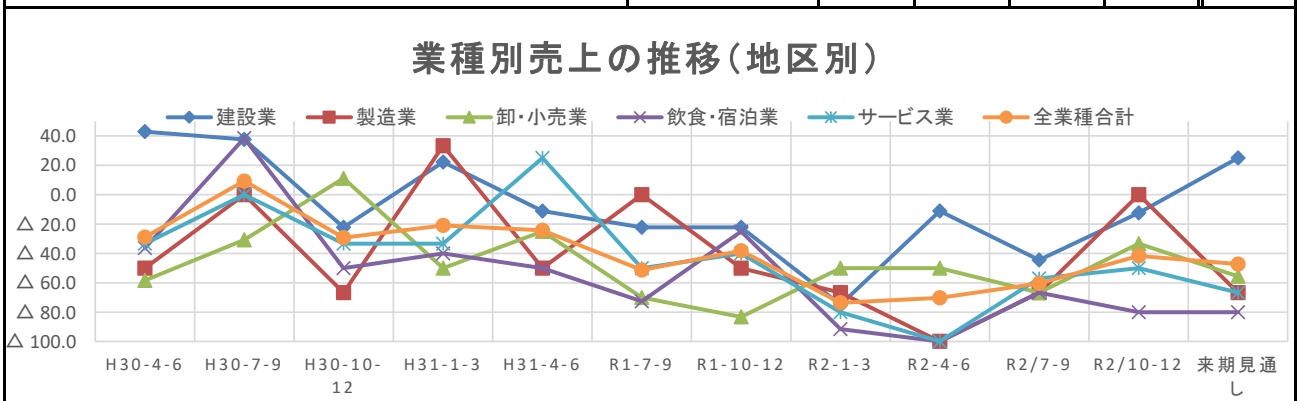


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△38.6ポイントで、前回調査時よりも18.5ポイント増加となっている。前回調査時の見通しにて飲食・宿泊業も増加良しくされていたが、新型コロナウイルス感染症の第3波の影響により年末の売上減少が今期の減少要因と推測できる。また、緊急事態宣言の再発令の影響からか、来期見通しも今期よりも減少すると予測されている。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	25.0%	37.5%	37.5%	△ 12.5	25.0
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	△ 66.7
卸・小売業	22.2%	22.2%	55.6%	△ 33.3	△ 55.6
飲食・宿泊業	10.0%	0.0%	90.0%	△ 80.0	△ 80.0
サービス業	16.7%	16.7%	66.7%	△ 50.0	△ 66.7
全業種合計	19.4%	19.4%	61.1%	△ 41.7	△ 47.2

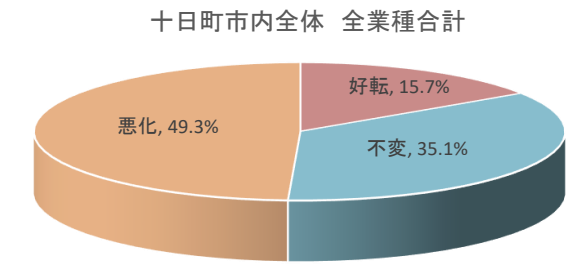


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△41.7ポイントで、前回調査時よりも18.8ポイント増加している。飲食・宿泊業にて減少があるが、その他の業種は増加を示している。しかし、来期見通しでは、建設業以外の業種で今期よりも減少予測がありぜんたいDIも減少値が出ている。建設業においては、降雪の多さが売上に直結する時期でもあり、降雪の量に比例している。

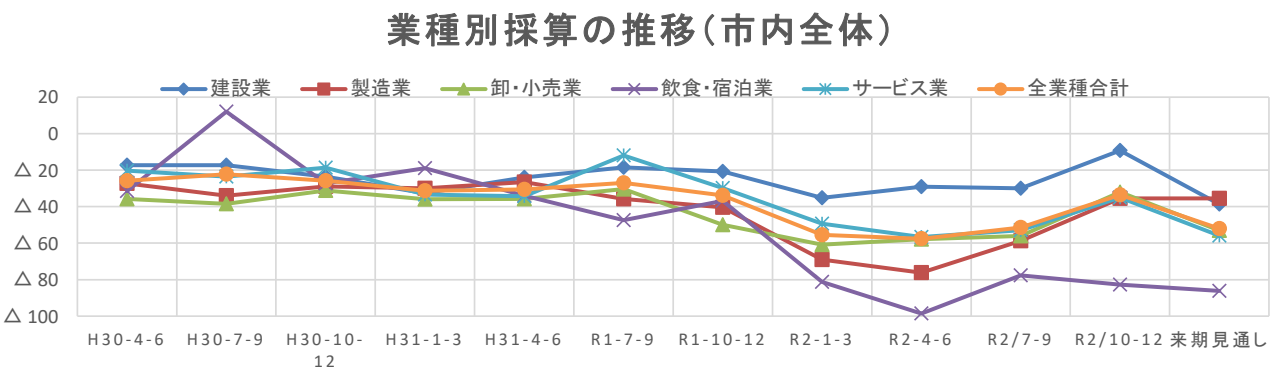
２．採算について

・１０月～１２月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

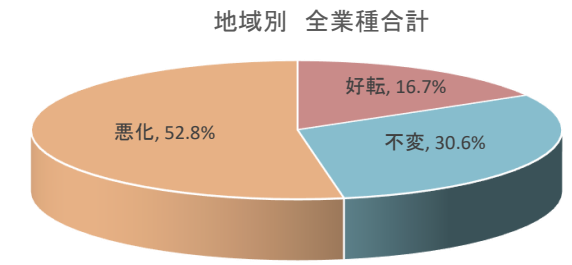


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	20.2%	50.4%	29.4%	△ 9.2	△ 38.7
製造業	16.7%	31.3%	52.1%	△ 35.4	△ 35.4
卸・小売業	16.0%	36.0%	48.0%	△ 32.0	△ 53.0
飲食・宿泊業	3.4%	10.3%	86.2%	△ 82.8	△ 86.2
サービス業	16.9%	31.2%	51.9%	△ 35.1	△ 55.8
全業種合計	15.7%	35.1%	49.3%	△ 33.6	△ 52.0

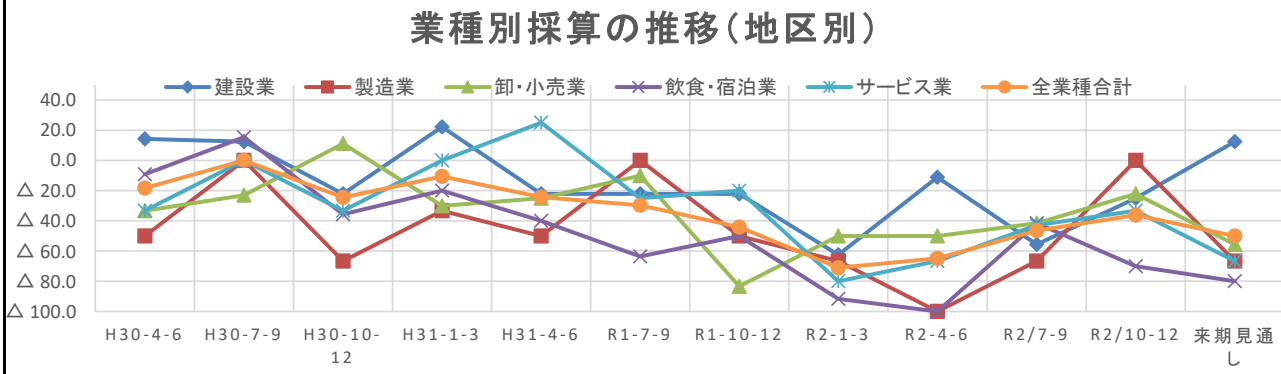


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△33.6ポイントで、前回調査時よりも17.8ポイント好転している。飲食・宿泊業以外の業種で好転しているが、飲食・宿泊業は新型コロナ感染症の影響を受けての悪化と思われる。さらに来期見通しも好転予測している業種は無く、今期よりも悪化することが予測される。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	12.5%	50.0%	37.5%	△ 25.0	12.5
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	△ 66.7
卸・小売業	22.2%	33.3%	44.4%	△ 22.2	△ 55.6
飲食・宿泊業	10.0%	10.0%	80.0%	△ 70.0	△ 80.0
サービス業	16.7%	33.3%	50.0%	△ 33.3	△ 66.7
全業種合計	16.7%	30.6%	52.8%	△ 36.1	△ 50.0

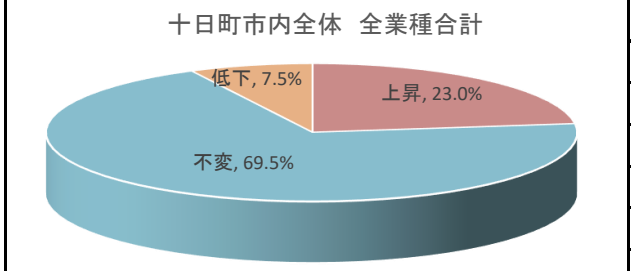


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△36.1ポイントで、前回調査時よりも10.4ポイント好転している。売上状況と同様で、飲食・宿泊業にて悪化が見られたものの、その他の業種は好転している。来期見通しも売上状況と同様の波形が出ており、特に飲食・宿泊業では新型コロナウイルス感染症の全国的な感染者増加による移動自粛が影響しているものと推測できる。

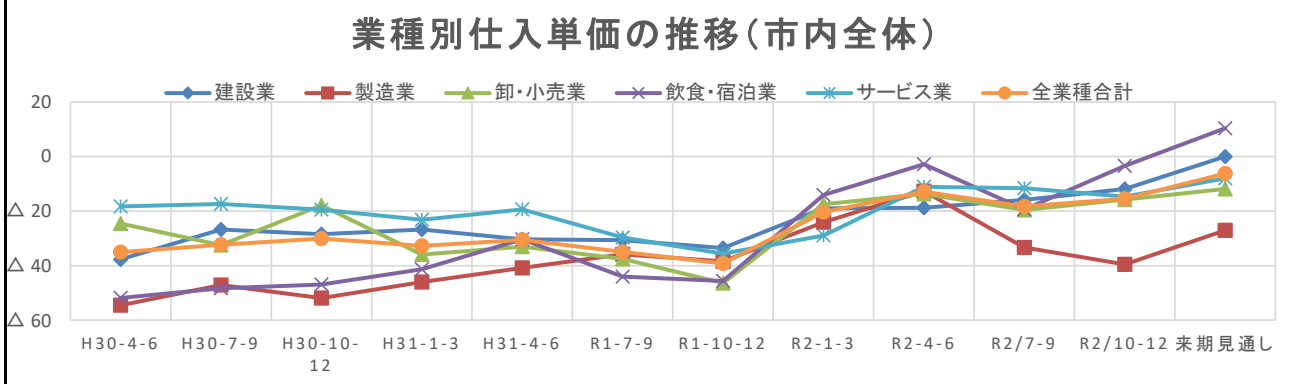
３．仕入単価について

・１０月～１２月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

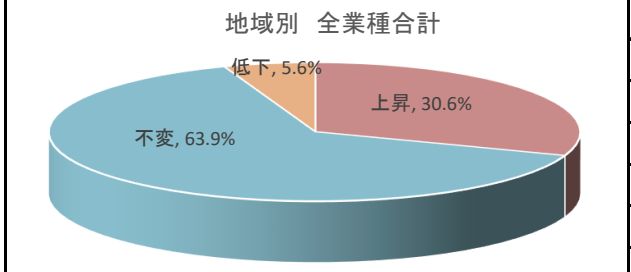


	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	17.8%	76.3%	5.9%	△ 11.9	0.0
製造業	41.7%	56.3%	2.1%	△ 39.6	△ 27.1
卸・小売業	25.7%	64.4%	9.9%	△ 15.8	△ 11.9
飲食・宿泊業	24.1%	55.2%	20.7%	△ 3.4	10.3
サービス業	14.7%	85.3%	0.0%	△ 14.7	△ 8.0
全業種合計	23.0%	69.5%	7.5%	△ 15.5	△ 6.3

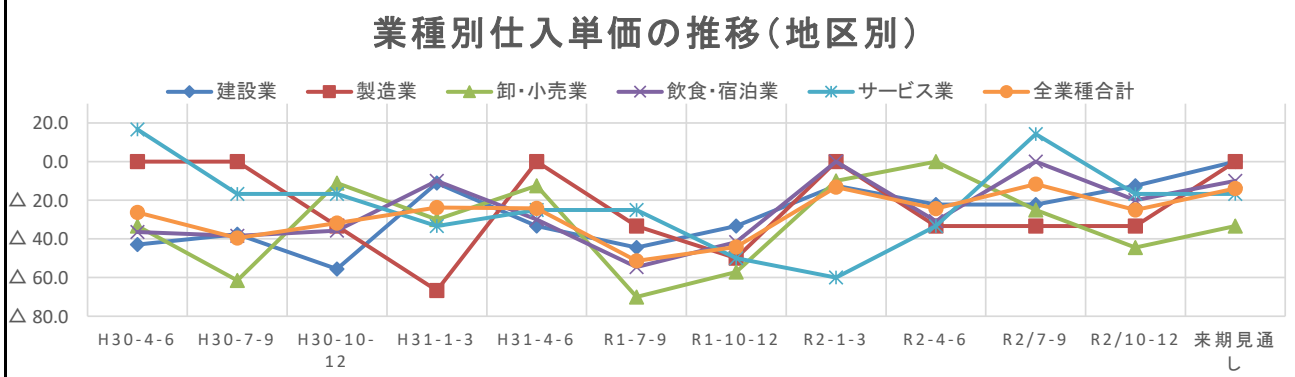


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△15.5ポイントで、前回調査時よりも2.8ポイント低下となっている。製造業とサービス業で若干の上昇が見られたが、その他の業種での低下が全体数値を下げている。来期見通しにおいては、全業種で低下予測しており、今期よりも単価減少があるものと思われる。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	12.5%	87.5%	0.0%	△ 12.5	0.0
製造業	33.3%	66.7%	0.0%	△ 33.3	0.0
卸・小売業	44.4%	55.6%	0.0%	△ 44.4	△ 33.3
飲食・宿泊業	40.0%	40.0%	20.0%	△ 20.0	△ 10.0
サービス業	16.7%	83.3%	0.0%	△ 16.7	△ 16.7
全業種合計	30.6%	63.9%	5.6%	△ 25.0	△ 13.9

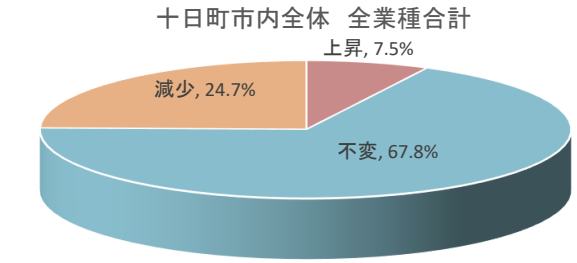


＜コメント＞　松之山地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△25.0ポイントで、前回調査時より13.4ポイント低下している。建設業にて上昇が見られたが、その他の業種は低下解答となっている。しかし、来期見通しにて全業種で上昇予測されており、売上減少に加えた仕入単価上昇が採算の悪化につながっているものと推測する。

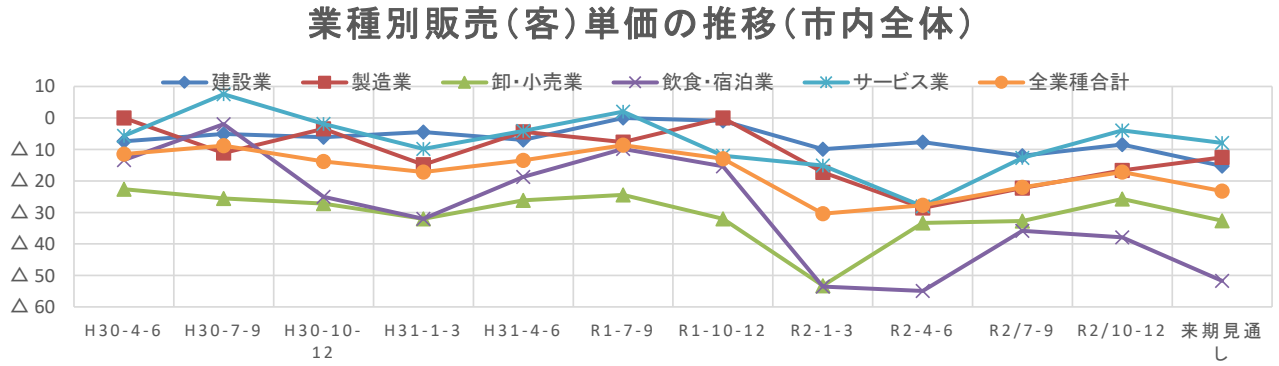
４．販売（客）単価について

・１０月～１２月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

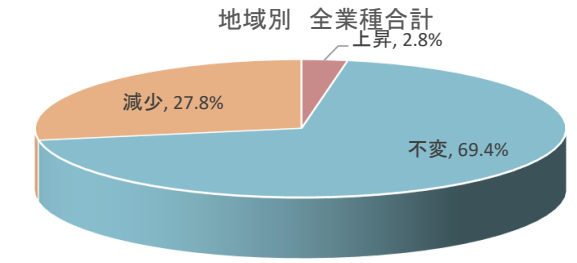


	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	3.4%	84.7%	11.9%	△ 8.5	△ 15.3
製造業	4.2%	75.0%	20.8%	△ 16.7	△ 12.5
卸・小売業	10.9%	52.5%	36.6%	△ 25.7	△ 32.7
飲食・宿泊業	8.6%	44.8%	46.6%	△ 37.9	△ 51.7
サービス業	10.5%	75.0%	14.5%	△ 3.9	△ 7.9
全業種合計	7.5%	67.8%	24.7%	△ 17.2	△ 23.2

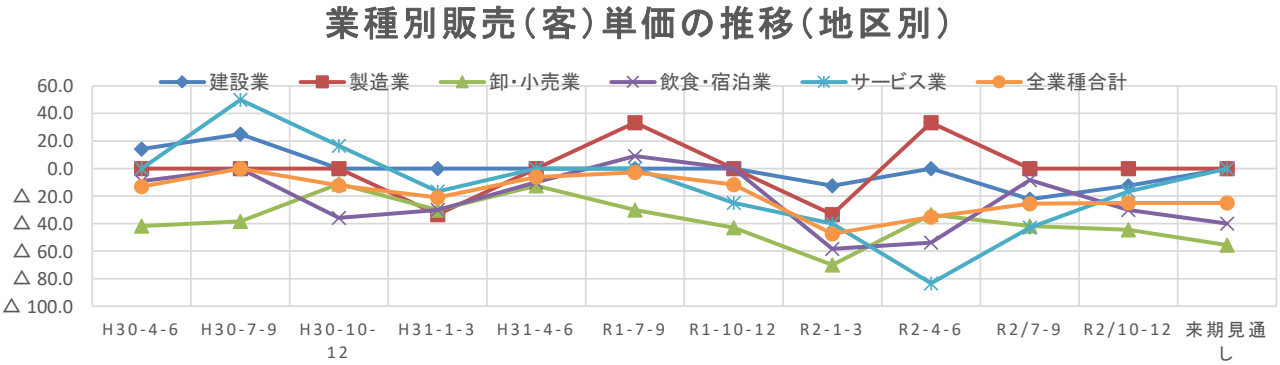


＜コメント＞　十日町市全体の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値△17.2ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント上昇となっている。飲食・宿泊業にて減少しているが、その他の業種で上昇を示しており全他の数値を引き上げている。しかし、来期見通しにおいては、製造業で上昇予測されているものの、その他の業種は減少予測されており、今期よりも減少予測となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	87.5%	12.5%	△ 12.5	0.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	55.6%	44.4%	△ 44.4	△ 55.6
飲食・宿泊業	10.0%	50.0%	40.0%	△ 30.0	△ 40.0
サービス業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	0.0
全業種合計	2.8%	69.4%	27.8%	△ 25.0	△ 25.0

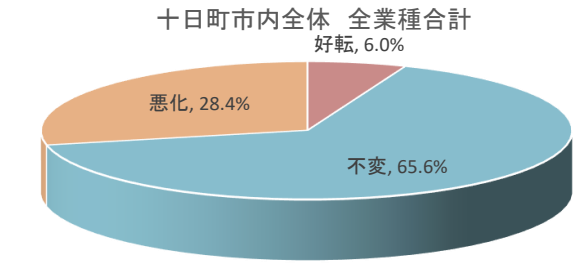


＜コメント＞　松之山地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値で△25.0ポイントで、前回調査時よりも0.6ポイント減少している。建設業とサービス業にて上昇が見られたが、卸・小売業と飲食・宿泊業で減少があった。来期見通しも業種によってバラツキがあるものの、業種全体では今期と同じ数値となっている。

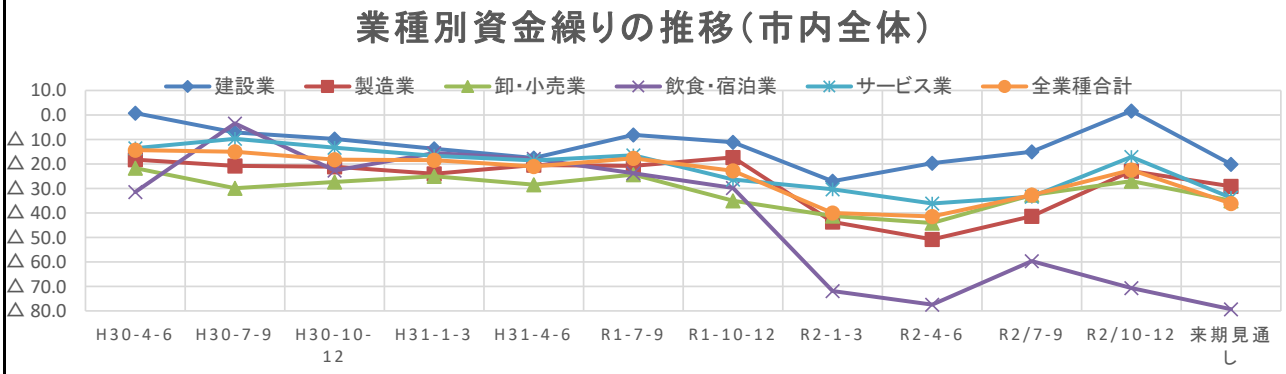
5．資金繰りについて

・１０月～１２月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

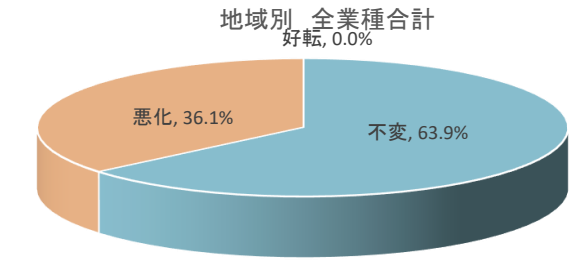


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	9.2%	83.2%	7.6%	1.7	△ 20.2
製造業	6.3%	64.6%	29.2%	△ 22.9	△ 29.2
卸・小売業	3.0%	67.0%	30.0%	△ 27.0	△ 35.0
飲食・宿泊業	0.0%	29.3%	70.7%	△ 70.7	△ 79.3
サービス業	9.2%	64.5%	26.3%	△ 17.1	△ 33.8
全業種合計	6.0%	65.6%	28.4%	△ 22.4	△ 36.1

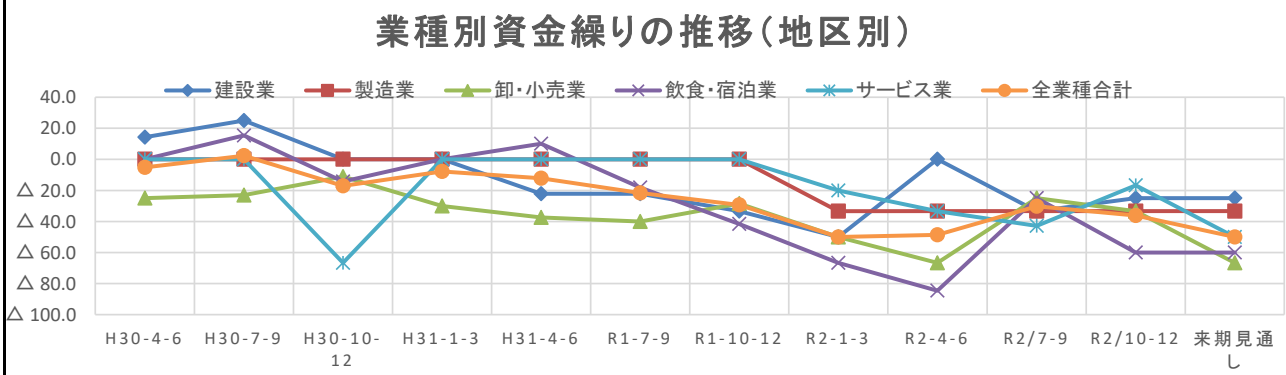


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△22.4ぽいんとで、前回調査時よりも10.3ポイント好転している。飲食・宿泊業のみ悪化となっているが、その他の業種にて好転を示しており、全業種での好転引き上げにつながっている。しかし、来期見通しでは全ての業種にて悪化予測されており、今期よりも悪化することが予測できる。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 33.3
卸・小売業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 66.7
飲食・宿泊業	0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 60.0
サービス業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 50.0
全業種合計	0.0%	63.9%	36.1%	△ 36.1	△ 50.0

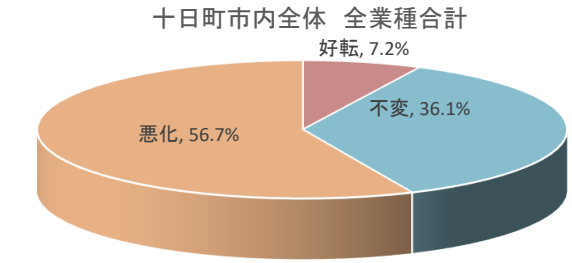


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△36.1ポイントで、前回調査時よりも5.9ポイント悪化となっている。不変回答はあるものの、全ての業種にて好転回答は無く地域内の全ての業種が厳しい状況にあることが推測できる。来期見通しにおいても、好転予測している業種は無く、今期よりも悪化予測している業種が多くある。

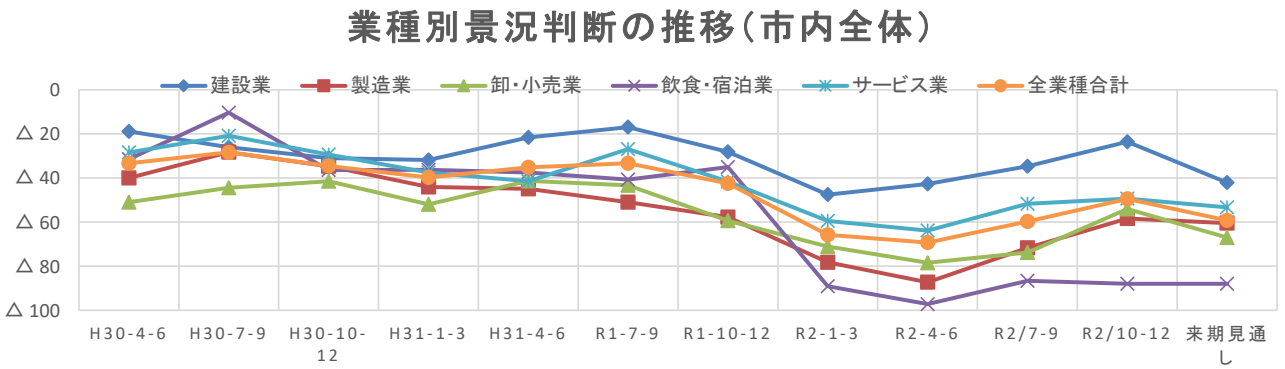
６．景況判断について

・１０月～１２月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

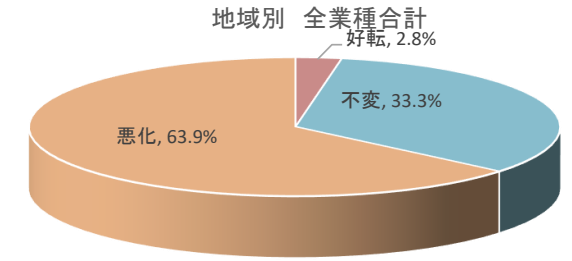


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	10.1%	56.3%	33.6%	△ 23.5	△ 42.0
製造業	6.3%	29.2%	64.6%	△ 58.3	△ 60.4
卸・小売業	8.0%	30.0%	62.0%	△ 54.0	△ 67.0
飲食・宿泊業	1.7%	8.6%	89.7%	△ 87.9	△ 87.9
サービス業	6.5%	37.7%	55.8%	△ 49.4	△ 53.2
全業種合計	7.2%	36.1%	56.7%	△ 49.5	△ 59.2

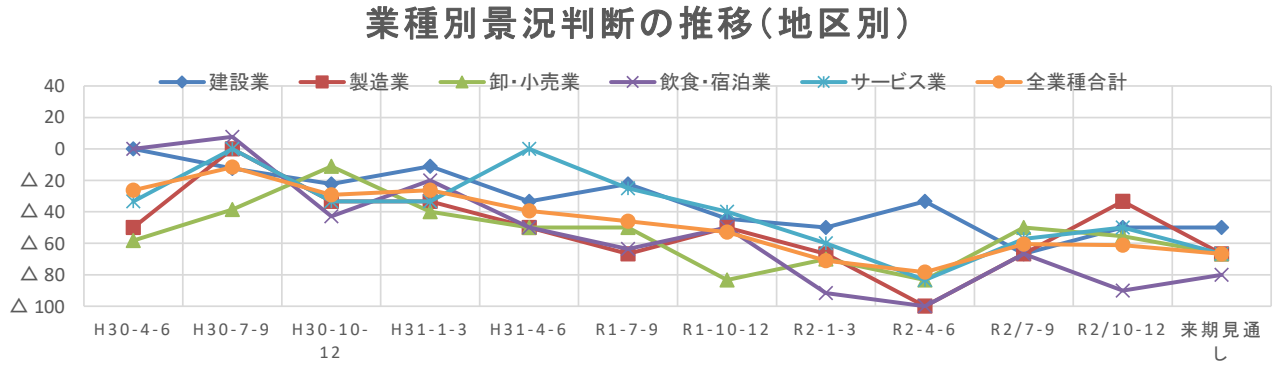


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△49.5ポイントで、前回調査時よりも10.2ポイント好転となっている。飲食・宿泊業以外の業種にて上昇が示されており、業種全体の数値を引き上げている。ただし、他の調査項目と同様で、来期見通しにて今期よりも悪化予測されており、今後の動向に注視したいところである。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 66.7
卸・小売業	11.1%	22.2%	66.7%	△ 55.6	△ 66.7
飲食・宿泊業	0.0%	10.0%	90.0%	△ 90.0	△ 80.0
サービス業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 66.7
全業種合計	2.8%	33.3%	63.9%	△ 61.1	△ 66.7

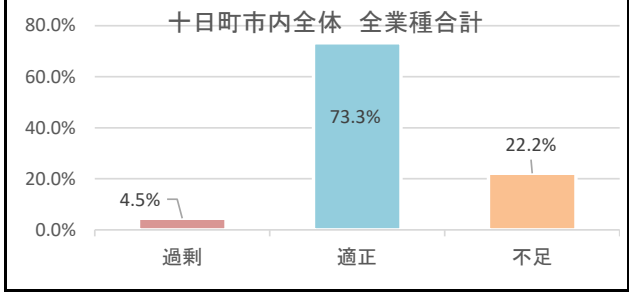


＜コメント＞　松之山地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△61.1ポイントで、前回調査時よりも0.6ポイント悪化となっている。建設業と製造業にて好転が見られたが、卸・小売業と飲食・宿泊業にて悪化があり、特に飲食・宿泊業は悪化数値も高くなっている。来期見通しにおいて飲食・宿泊業の若干の好転予測があるものの、悪化予測している業種の方が多くある。

７．従業員数について

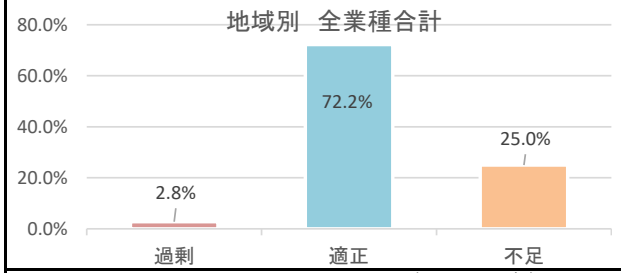
・１０月～１２月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞



	過剰 %	適正 %	不足 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	56.8%	43.2%	△ 43.2	△ 39.8
製造業	8.3%	77.1%	14.6%	△ 6.3	4.2
卸・小売業	3.1%	87.8%	9.2%	△ 6.1	△ 5.1
飲食・宿泊業	12.5%	71.4%	16.1%	△ 3.6	△ 3.5
サービス業	5.2%	79.2%	15.6%	△ 10.4	△ 7.8
全業種合計	4.5%	73.3%	22.2%	△ 17.6	△ 14.6

＜地区別：松之山地区＞

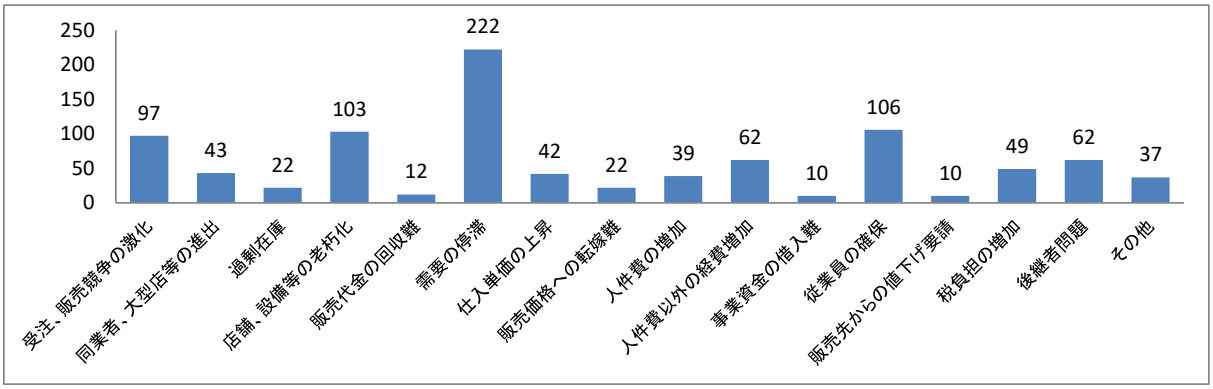


	過剰 %	適正 %	不足 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	37.5%	62.5%	△ 62.5	△ 62.5
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
卸・小売業	11.1%	88.9%	0.0%	11.1	11.1
飲食・宿泊業	0.0%	70.0%	30.0%	△ 30.0	△ 30.0
サービス業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7
全業種合計	2.8%	72.2%	25.0%	△ 22.2	△ 22.2

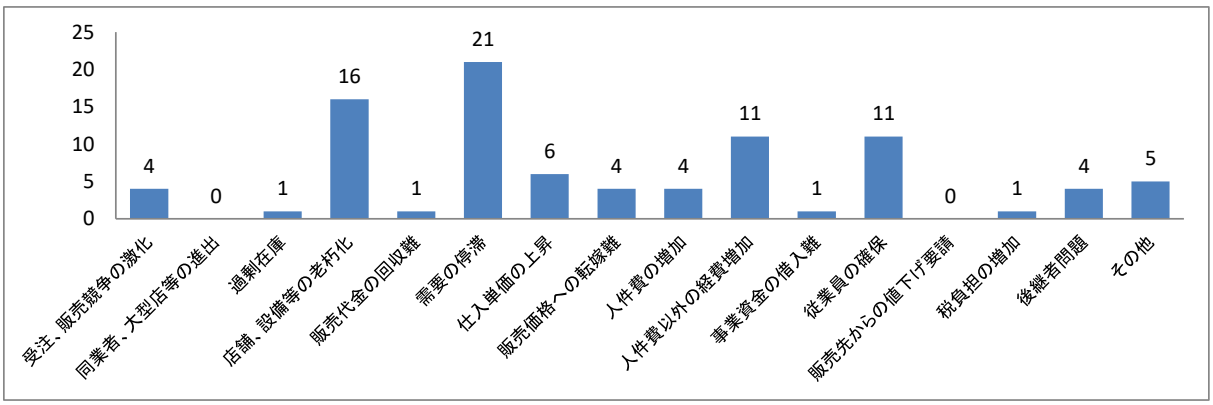
＜コメント＞　今期の従業員数（雇用動向）は、過剰回答が4.5%と前回調査時よりも1.1%減少し、不足回答が22.2%で前回調査時よりも0.8%減少した。松之山地区の状況は過剰が2.8%で前回調査時よりも0.5%上昇し、不足が25.0%で前回調査時よりも1.7%上昇している。建設業と飲食・宿泊業、サービス業の不足値が市内全体よりも高く出ている。

８．経営上の問題点（上位３つ）：１０月～１２月

十日町市内全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今回調査での経営上の問題点は、1位から4位までの順位に変動は無く、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「店舗、設備等の老朽化」4位「受注、販売競争の激化」であった。
松之山地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」が前回調査時と同じであったが、次いで多かったのは「人件費以外の経費増加」であった。「従業員の確保」も同数となっており、人材不足が今後の課題となっている。

９．地区の景況概要

・１０月～１２月時点での全体概況は

【建設業】 今期の建設業の状況は、調査期間中に多くの降雪があったことから、各調査項目でも良好な数値回答があり、景況判断も好転している。来期見通しにおいても売上、採算、販売単価において今期よりも好転（増加）予測されている。経営上の問題点では、依然「従業員の確保」が多く回答されており、除雪作業等におけるオペレーター不足も今後の課題となっている。
【製造業】 今期の製造業の状況は、売上、採算項目で大きな好転（増加）回答があり、景況判断も良好なものであった。しかし、来期見通しでの回答は、売上の大きな減少予測があるものの、仕入単価の減少予測も多くあり、経営状況においては今期と大きな変動は無いものと思われる。経営上の問題点では、前回調査と同様で「従業員の確保」回答があり、製造業での人材不足傾向は続いている。
【卸・小売業】 今期の卸・小売業の状況は、前回調査時よりも売上の増加はあったものの仕入単価の増加があり、資金繰り、景況判断ともに前回調査よりも悪化傾向となっている。来期見通しでは、売上、販売（客）単価の減少予測があり、資金繰りの悪化予測が大きな数値幅があることから、実際の数値を注視したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が依然多く、「店舗、設備等の老朽化」が次いでいる。
【飲食・宿泊業】 今期の飲食・宿泊業の状況は、調査期間中の前半ではGoToトラベルやGoToEat事業にて良好なものと思われたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により調査期間中の後半にて失速した結果と推測する。年末年始の状況も良い話が聞こえてこないことから、来期見通しも今期と同様から若干の悪化予測になっているものと思われる。経営上の問題点では、「人件費以外の経費の増加」が多くなってきている。
【サービス業】 今期のサービス業の状況は、売上の増加や仕入単価の減少により資金繰り、景況判断において前回調査時よりも良好な結果であった。ただし、来期見通しでは反転し、売上減少と仕入単価上昇が予測されており、資金繰り、景況判断ともに悪化予測されている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されているが、次いで多いのは「従業員の確保」となっており、サービス業においても人材不足が問題となっている。